

SYMPOSIUM シンポジウム

ベルカントの巨匠ロッシーニ

“Rossini, Maestro di Canto e di Belcanto”

ジャンカルロ・ランディーニ
「ロッシーニとコロラトゥーラ (唱法)」
～感情を描き出す千の方法～

カルメン・サントーロ
「ロッシーニとその歌手」
～新時代を築いた名歌手たち～

小畑恒夫
「パリのロッシーニ」
～晩年の宗教音楽～

ダニエーラ・バルチェッローナ
「訓練とファンタジー」
～ロッシーニ歌いの戦い～

モデレーター：折江忠道

“ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン”は、2019年に藤原歌劇団とイタリア・ヴァッレ・ディトリア音楽祭との共同制作によって誕生し、今回で3回目を迎えます。

今回のシンポジウムのテーマは、12月6日の特別コンサートでロッシーニ最晩年の1863年に作曲された「小荘厳ミサ曲 Petite messe solennelle」が演奏されることを受け、「ベルカントの巨匠ロッシーニ」と題して開催致します。

今回の登壇者は、イタリアから、ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパンの芸術監督を務めるカルメン・サントーロ、イタリアのl'operaの雑誌で長年に渡り副編集長を務める音楽学者ジャンカルロ・ランディーニ、ロッシーニ歌手最高峰のメゾ・ソプラノとして活躍を続けているダニエラ・バルチェッローナ、日本からは音楽学者として教育・研究・評論の分野で活動している小畑恒夫、そして藤原歌劇団総監督の折江忠道が参加します。

オペラ作曲家として名高いロッシーニの核心に迫ることとなる貴重な機会を、会場またはオンラインでぜひご清聴ください。



カルメン・サントーロ
(BOF芸術監督)
Carmen Santoro



ダニエーラ・バルチェッローナ
(メゾ・ソプラノ歌手)
Daniela Barcellona



ジャンカルロ・ランディーニ
(音楽評論家)
Giancarlo Landini



小畑 恒夫
(音楽評論家)
Tsuneo Obata



折江 忠道
(藤原歌劇団総監督)
Tadamichi Orié

通訳：井内 美香
Mika Inouchi

2020年
12月3日(木)
18:00～

C511教室
(昭和音楽大学南校舎5階)

小田急線・新百合ヶ丘駅 南口より徒歩4分

参加無料(要予約)

聴講参加方法

会場聴講 or オンライン聴講
いずれも人数限定(先着順にて)
※オンライン聴講ではZoomを使用致します。

お問い合わせ・予約
日本オペラ振興会チケットセンター
03-6721-0874 (平日10:00～18:00)
<https://www.jof.or.jp>

※HPのBOF ページ内申込フォームからもお申し込み可能です。

- 主催：文化庁
公益財団法人日本オペラ振興会
- 協力：ヴァッレ・ディトリア(マルティーナ・フランカ)音楽祭
昭和音楽大学
- 後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会
NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり